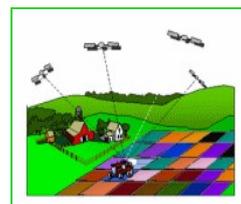




北海道情報化農業ニュース

北海道における持続的な農業の発展のための情報技術の活用促進
およびその健全な普及を図る。



- 運営委員会からの報告について
- 3D・UAV 利用の国内外の事例紹介など
- セミナー・シンポジウム案内など

号外 2017. 12. 12

【報告】

・第2回運営委員会を12月4日(月)開催しました。
つきましては、次期総会及びシンポジウム(案)について報告します。

開催日程:3月8日(木)12:30~17:00

会 場 :北海道大学学術交流会館・第1会議室

総 会 :12:30~13:00

シンポジウム:13:00~17:00

テーマ:人工知能(AI)に絞る方向で検討する。

仮題:「人工知能(AI)を農業利用に置ける可能性について」~農業に関する様々な「巧の技(骨)」を人工知能で補えられるか。

基調講演:講師(候補) 公立はこだて未来大学 教授
松原 仁 専門分野 人工知能

他に、研究者、農業経営者、企業などを招き、AIを農業利用に置ける可能性や課題などパネルディスカッション方式により掘り下げ議論するなど、運営委員会で確認されました。開催要領など詳細が決まりしだい、ご案内致します。

【会員からの高度情報化関連ニュース】

1) 3D データ、ドローン活用など国内外の展開を紹介

(合)スパーポイントリサーチ

〒224-0001 横浜市都筑区中川 5-7-8

TEL: 045-482-3073

URL : <http://www.sparj.com>

1. SparView No. 49

1)VR/AR(virtual reality, augmented reality 拡張現実)の話題豊富

2)DJI: スパイ行為否定。当然否定するであろう。

3)テラドローン: 後発参入組であるが積極的な事業戦略と海外戦略。声援を贈りたい。

[http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst\(15\)/SparViewVol15\(49\)TerraDrone.pdf](http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(49)TerraDrone.pdf)

【産学官 CIM・GIS 研究会からのお知らせ】

HEAD LINE 1 「QGIS 初級ハンズオン講習会開催のお知らせ」

一般社団法人北海道産学官研究フォーラム/産学官 CIM・GIS 研究会では、i-Construction や CIM の推進に向けて様々な活動を行っておりますが、この度下記の「QGIS 初級ハンズオン講習会」を実施します。下記の開催内容をお読みになり、ご参加くださいますようお願いいたします。

■日時:2017年12月20日(水)13:00~17:00

■会場:株式会社岩崎 大会議室

札幌市中央区北4条東2丁目1番地

■参加費 一般 8,000円、会員・官公庁・自治体 6,000円(テキスト代、書籍代込み)

■申込み詳細は下記のURLをご覧ください。

<http://sangaku.tank.jp/wp2/info/20171220qgis/>

【一般社団法人北海道産学官研究フォーラムからのお知らせ】

HEAD LINE 2 「環境・エネルギーシンポジウムのご案内」

この度、北海道大学北極域研究センター長の齊藤先生を始め、4名の講師による「北極域研究と北海道」と出したシンポジウムを開催します。是非ご参加お待ちしております。

記

■日時:12月13日(水)13:30~16:50(定員55名)

■会場:かでの2・7 10階 1040会議室

札幌市中央区北2条西7丁目

■プログラム

13:30~14:10 「今、北極で何が起きているのか?北極域研究の最前線」北海道大学北極域研究センター長 齊藤 誠一氏

14:10~14:50 「北極域をめぐる国際関係」北海道大学

北極域研究センター准教授 大西 富士夫氏

14:50～15:00 休憩

15:00～15:40 「北極海航路の現状と見通し」北海道大学北極域研究センター教授 安部 智久氏

15:40～16:20 「北極海を横断する光海底ケーブルと北海道」北海道大学北極域研究センター助教 aunavaara Juha 氏

16:20～16:50

■ パネルディスカッション

コーディネイター 北海道大学北極域研究センター長 齊藤 誠一氏

■ 参加費

一般・非会員…3,000 円

主催・共催団体の会員、官公庁・自治体…2,000 円

■ 主催:一般社団法人北海道産学官研究フォーラム

■ 共催:特定非営利活動法人 Digital 北海道研究会
産学官 CIM・GIS 研究会

■ 後援:(依頼中含)一般社団法人建設コンサルタンツ協会北海道支部

一般社団法人日本写真測量協会北海道支部

一般社団法人北海道建設業協会

北海道大学北極域研究センター

■ お申込は下記の URL からお願いします。

<https://eipo.jp/dghok/seminars/view/10863>

■ 詳細は下記の URL をご覧ください。

https://h-sangakukan.jp/h-sangakukan/wp-content/uploads/2017/11/2017.12.13_env.pdf

【北海道ドローン協会からのお知らせ】

HEAD LINE 3 「ドローン活用セミナーのご案内」

～ドローン導入から運用に向けてのロードマップ～

記

開催日時:2017 年 12 月 19 日(火)13:20～15:50 (受付 13:00～)

会場:かでの 2・7 10 階 1060 会議室(定員 70 名)

札幌市中央区北 2 条西 7 丁目 道民活動センタービル

「ドローン導入から運用に向けてのロードマップ」講師:

HELICAM 株式会社 代表取締役 丹野 宏柄氏

「建設・農業の現場におけるドローンの活用と事例のご紹介」講師:株式会社岩崎企画調査部 渡邊 悠 氏

参加費:一般・非会員 3,000 円

北海道ドローン協会会員 2,000 円

(会員料金は「北海道ドローン協会」会員のみ)

○下記アドレスのフォームよりお申込下さい。

<https://eipo.jp/dghok/seminars/view/11138>

○ドローン活用セミナー詳細・FAX 申込用紙 PDF

https://do-rone.jp/dr/wp-content/uploads/2017/12/201712drk_fax.pdf

【北海道からのお知らせ】

スマート農業推進協議体からのお知らせ NO24

平成 29 年 12 月 12 日

目 次

○ 北海道宇宙ビジネスセミナーの開催について
北海道における宇宙ビジネスの取組をさらに広めていくため、道内の事例を紹介し、今後の可能性について考える「北海道宇宙ビジネスセミナー」を開催しますので、お知らせします。

会員の皆様のお越しをお待ちしております。

記

1. 開催趣旨

本年 7 月には、我が国の民間企業単独としては初めて高度 100km の宇宙空間を目指したロケットが大樹町から打ち上げられ、宇宙 ビジネスへの関心を高めるきっかけとなりました。また、人工衛星データの質と量の大幅な向上により、広大な面積を持ち衛星データ利用の潜在ニーズが高い本道では、今後新たな宇宙ビジネスの創出が期待されます。こうした状況を踏まえ、北海道における宇宙ビジネスの取組を広く紹介するとともに、今後道内企業による宇宙ビジネスへの新たな参入に向けた機運醸成を図ることを目的にセミナーを開催します。

2. テーマ 北海道における宇宙ビジネスの可能性

3. 主催 北海道

4. 協力 一般社団法人北海道オープンデータ推進協議会、No Maps 実行委員会、一般社団法人北海道産学官研究フォーラム、NPO 法人 Digital 北海道研究会、北海道スペースポート研究会

5. 開催日時 平成 29 年 12 月 21 日(木)14 時 00 分～17 時 00 分

6. 場所 ホテルポールスター札幌 2 階 コンチェルト(札幌市中央区北 4 条西 6 丁目)

<http://www.polestar-sapporo.com/access/>

○プログラム

1. 「北海道を宇宙のシリコンバレーに」

講師:北海道大学公共政策大学院 教授 鈴木 一人氏

2. 北海道内の取組紹介

(1)「北海道発の宇宙ロケットの現状とその先」

講師:インターステラテクノロジズ(株) CEO 稲川 貴大氏

(2)「地上とドローンと宇宙の連携が生むイノベーション」

講師:北海道大学宇宙ミッションセンター センター長(株)ポーラスター・スペース 技術アドバイザー 高橋 幸弘 氏

3. ディスカッション

コーディネーター 北海道大学公共政策大学院 教授
鈴木 一人 氏

出演者 インターステラテクノロジズ(株) CEO 稲
川 貴大 氏

北海道大学宇宙ミッションセンター センター長 高橋 幸
弘 氏

JAXA新事業促進部 部長 松浦 直人 氏

北海道経済部科学技術振興室 室長 青木 誠雄

○お申し込み等

- ・参加無料
- ・定員:150名程度
- ・参加希望の方は12月19日(火)までに、下記メールアドレスまで電子メールでお申し込みください。

E-mail:sogo.kagil@pref.hokkaido.lg.jp

1.お名前、2.会社・団体等の名称、3.所属・役職、4.連絡先(電話及びメールアドレス)

の4点をお知らせください。

※詳細は下記の URL をご覧ください。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kgs/sangaku/uchu/291221utyu.htm>

【お問い合わせ先】

北海道経済部産業振興局科学技術振興室(担当:北風、
渋谷)

TEL:011-204-5127

【編集後記】

各会員に置かれましては師走のお忙しい中、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、今回もご紹介した通り、各種産学官のセミナーに、農業に関する ICT 技術など高度情報化の利用に関する機運が高まっており、社会実装も進んできているなどと思います。

当研究会としましてこれからも、北海道農業の発展に寄与して行きたいと思っておりますので皆様のご尽力の方、よろしくお願い致します。

簡単ですが年末のご挨拶に替えさせていただきます。良いお年をお迎えください。

＜発行＞北海道高度情報化農業研究会
事務局長：内田 秀一
〒060-0005 札幌市中央区北 5 西 6-1
公益財団法人北海道農業公社 農村振興部
TEL：011-241-7551 FAX：011-271-3776
e-mail：uchida@adhokkaido.or.jp